



第56回 全国大学保健管理研究集会報告

高知大学保健管理センター 梅田 牧

今回の研究集会は「広がる国際化社会における大学保健管理」がテーマに掲げられ、平成30年10月3～4日の2日間でした。東京大学担当で品川の大井町駅前の『きゅりあん』（品川区立総合区民会館）が会場です。羽田からのアクセスも良く、当日便で参加された方も多かったかと思えます。



【開会式】

厳粛な雰囲気の中、開会式が執り行われました。



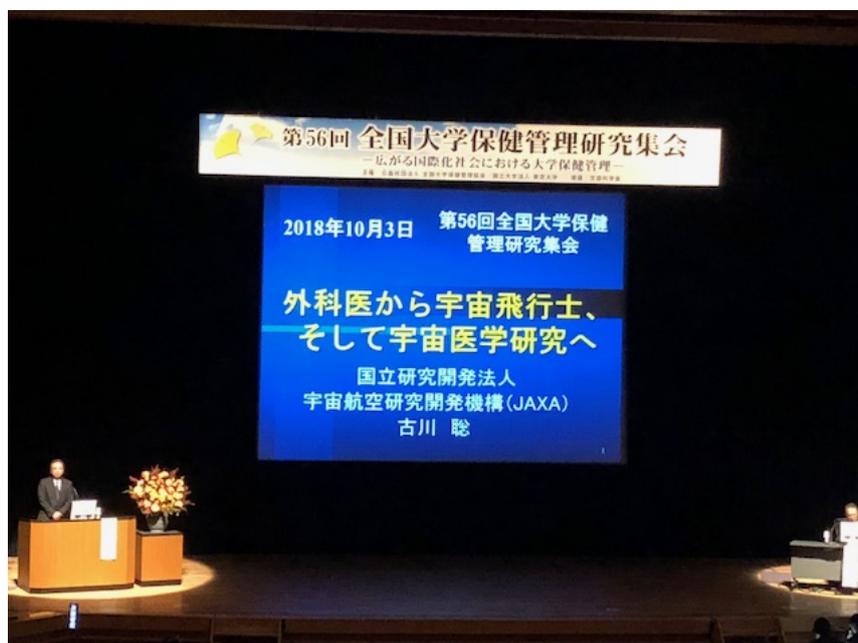
【特別講演 1】 「氾濫する健康に関する情報への対処」 松木 則夫

テレビ番組等のメディア上で氾濫する健康食品、健康グッズへの苦言、科学的根拠がないことを改めて示していただきました。また、特定保健用食品は、1つでも研究報告された事例があれば認定されることに驚きました。



【特別講演 2】 「外科医から宇宙飛行士、そして宇宙医学研究」 古川 聡

宇宙ステーションでの生活の詳細を語っていただきました。上下の感覚がわからなくなる、帰還後平衡感覚のリハビリに時間を要するなど、無重力に関する内容は大変興味深く惹かれるものでした。タンパク質結晶成長実験は宇宙でしかできないもので新薬の開発につながっているようです。

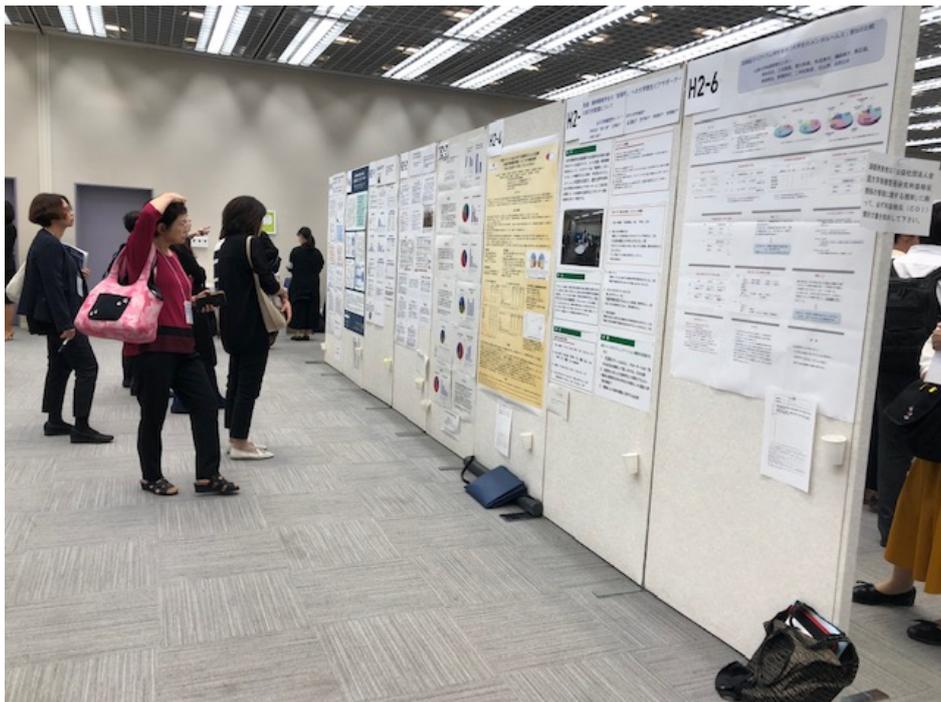


【ランチョンセミナー2】「知っておきたい最新の肝細胞癌」 建石 良介

この数年、C型肝炎の治療には新薬の登場により、インターフェロン治療に代わって飲み薬のみの治療になった。これによるがん患者数は減少し、治る病気となってきた。しかし、完治したわけではなく、フォローが必要なことも示された。今後の課題としては、脂肪肝や糖尿病等の他疾患との関連性について研究が注目されている。

【一般研究発表】（パネルディスカッション）

一般研究発表は、健康診断（29演題）、健康診断・保健指導（23演題）、産業保健（6演題）、喫煙（4演題）、感染症（15演題）、メンタルヘルス（25演題）、学生相談（17演題）、障がい者支援（12演題）が掲示され、活発なディスカッションがみられました。



〈2日目〉

【シンポジウム1】 「LGBTIについて知っておくべきこと」

石丸 径一郎 針間 克己 高野 明

セクシャルマイノリティの総称として用いられる「LGBTI」。Iのインターセックス（生まれつき生殖系構造に変異があるもの）が加えられたことを今回初めて知りました。また、本人たちも病人扱いして欲しくないこともあり、性同一性障害のようにICD-10による分類をしない、病気としない方向に進んでいるようです。ステレオタイプ的な見方をされ、差別や偏見に悩んできた性的マイノリティの方の自尊心を保つためには、治療の対象ではなく、彼らを理解しサポートすることが大切であるという事でした。

会場との質疑応答では、書類関係の性別の表記や更衣室の問題など、活発な意見がだされ、有意義なシンポジウムとなりました。

【シンポジウム2】「大学発 健康情報の標準化とデータを活用した健康管・健康増進の展望」

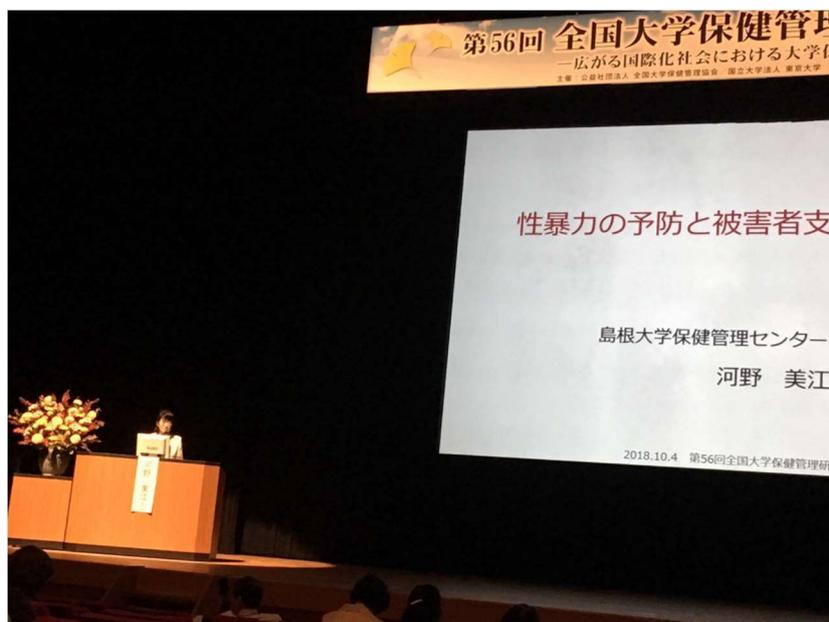
吉原 正治 山本 裕之 清原 康介 増原 知宏

2016年に発足した「大学における健康診断・健康関連情報の標準化と利活用に関わる調査研修班」の取り組みについての報告がなされ、それぞれのシンポジストの立場から、大学の健康診断で得られる情報をいかに健康増進・管理に利活用していくかについての意見が出されました。



【教育講演 3】 「性暴力の予防と性被害者支援」 河野 美江

鳥取大学保健管理センターの河野美江先生が、性暴力とは、性暴力被害にあわれた方の心理、必要な支援について、大変分かりやすくお話ししてくださいました。



【閉会式】

今回は大変内容の濃いプログラムで大変有意義な会となりました。東京大学のスタッフの皆様、お疲れ様でした。来年は北海道大学が当番校で、平成31年10月9日（水）・10日（木）と「札幌コンベンションセンター」で開催されます。



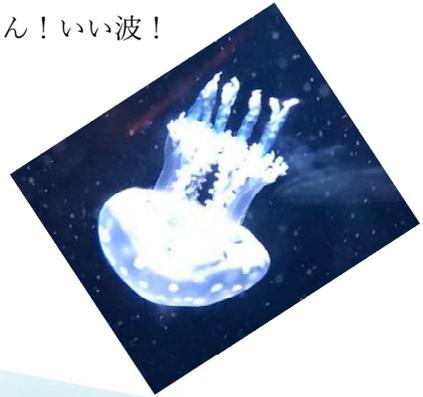
【研究集会番外編】

研究集会終了後日、湘南、江の島まで足をのばしてきました。

〈江の島水族館〉

カピバラやカワウソもいました。クラゲエリアが幻想的で素敵でした。

海は波が高いせいか、ダイバーが沢山いました。うーん！いい波！



江の島神社にお参り。シーキャンドルはこのあと丁度
ライトアップの時間になり、とても綺麗でした。



〈お食事〉

湘南・稲村が浜にある、鎌倉野菜をつかった和食レストラン「海菜寺」に行きました。ドラマ「好きな人がいること」の舞台となったレストラン。前菜もメインも、とても美味しく、ホールの方もとても気さくで感じよかったです。江ノ電沿いです。

途中、江ノ電の鎌倉高校前の踏切で、外国人旅行者が沢山いて、何かと思えば、漫画「スラムダンク」で有名な踏切のようでした。赤のユニフォームで記念撮影していました。



来年は北海道です。皆さん。お勉強以外でも楽しみましょう。